

## ●朝の NGO ミーティング

MedWet は、道を挟んで海岸沿いに建つので、なかなか人が集まらなかった。

この日も日本人と韓国人、早起きのイギリス人がメールを見てやってきた。WWF のデルフィニさんも来てくれた。

そこで、3日目より会場を変更し、皆がアクセスしやすい、コンラッドホテルのレストランでミーティングをすることにした。

1日のスケジュールを確認し、NGO として COP で話し合う必要のある案件をチェックして、ロビー活動を行うための役割分担、情報共有を図るというものだ。

今回は、普及啓発と参加 (CEPA) と戦略計画 (Strategic Plan) の部分に重点をおいて、市民社会・NGO が重要な役割を果たしていること、協働を念頭にした書き振りとするよう働きかける方向性を確認した。

ラムネット J の柏木さん、WWN のルーズさん、そして WWF のダフネさんが中心になって、メンバーの全員とメールで情報共有しながら、限られた時間の中で決議案 (DR) のレビュー作業を進めている。



朝の NGO ミーティングの直後の立ち話

## ●プンタ浜辺散歩

朝の NGO 会議の後、浜辺を少し歩いたら、ペンギンの死骸が打ち寄せられていた。地元の人によると、この季節は魚が獲れなくて死んでしまうペンギンがプンタの浜に打ち上げられるのだという。(；；)

浅瀬でかろうじて泳いでいる子も明日には打ち上げられてしまう運命にある。

昔は地元の NGO が弱って流れ着いたペンギンを保護して元気にしてから海に戻す取り組みをしていたのだが、資金がなくなってしまい、現在は活動していないという。



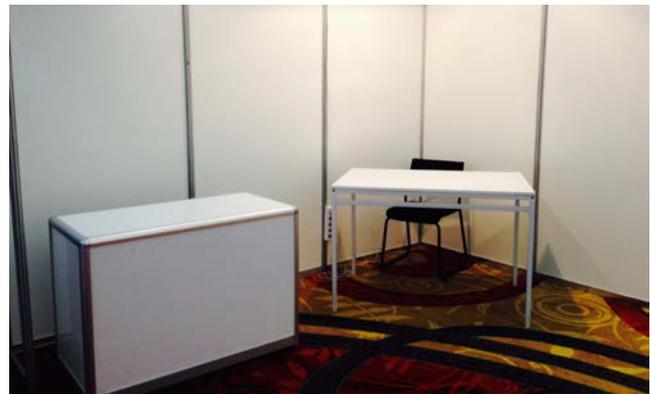
弱って岸に近づくペンギン 打ち上げられたペンギン

## ●会場設営請負会社との交渉

何から話そう・・・ずっと私の頭を悩ませていた展示場の設営会社との交渉がいよいよ最終決戦となった。木曜日の 11 時にモンテビデオから上司が、謝罪と集金に来るので、今度は間違いないと取り次いだお姉さんに言われた。そして、上司の人は、英語もできるのでクレームも伝えると良いという。

ところが 11 時に来ない。12 時、まだ来ない。1 時過ぎからのサイドイベントが終わって行くと、レストランにいるから来いという。爽やかな青いシャツを着た見た目好印象の事業家パンチョ氏だ。

とにかく握手を求められ、私が、御社の対応には非常に不満であると言ったところ、開口一番「No Problem!」と言い放った。いや～問題だらけだよ、謝罪の言葉は無かった。恐るべし異文化交流。



格下げされたテーブル

## ●マルドナドの街へ再び

バスの乗り方も覚え、午前中に行くはずだったチラシのコピーをしに 1 人マルドナドへ向かう。無事にコピーを終え、展示を改善するべくラシャ紙とマジックを買って帰ってきた。

ブースに戻り、文字だらけで見づらい展示の改善に取り掛かる。最終日までには、良い展示にしたいと思う。工作作業をしていると PRESS の名札を持ったフリーランスの報道カメラマンのミゲール・エンジェル・ルナさんがラムネット J のブースで写真を撮ってくれた。



● **iisd の web サイト**

iisd のラムサール会議の4日のハイライトの写真にラムネットJのブースが紹介されました！

<http://www.iisd.ca/ramsar/cop12/>

● **今日の動画**

街から帰ってバス停からホテルに戻る途中で会った黒い小さいトキ。

<http://youtu.be/aN5Ffcmf16Y>



カメラマンのミゲールさんと